



# 厳しい訓練は、大切なものを守るため！

消防団の主な活動をご紹介します。



## 総合防災訓練

毎年、総合防災訓練に参加し、災害に備えてさまざまな訓練を行っています。今年も、9月2日（日）に、今津町南浜を主会場に滋賀県総合防災訓練が行われました。その訓練の中で消防団は、ため池決壊防止訓練や林野火災防衛訓練などに参加し、土のうを積み上げたり、遠距離中継送水の訓練などを行い、災害時の動き等について確認しました。



## 消防操法訓練大会

消防技術の向上を図り、厳正・迅速な行動と士気の高揚、消防活動をより充実させることを目的として、毎年7月に、市の消防操法訓練大会が開催されています。各消防団は、この大会に向け、春先から連日厳しい訓練を重ねられます。

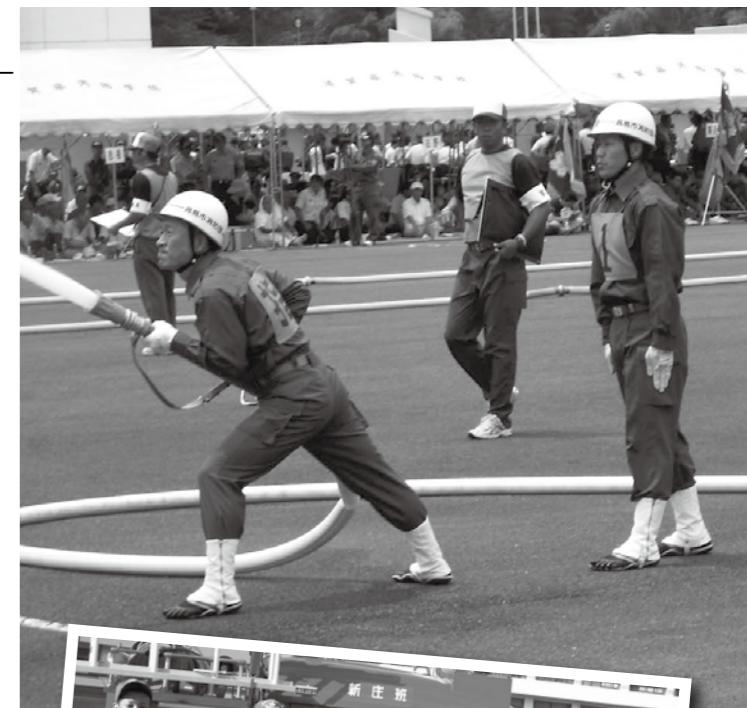
### 訓練の成果発揮し、県大会入賞

8月5日（日）東近江市の滋賀県消防学校で第47回滋賀県消防操法訓練大会が開催され、新旭第1分団が、高島市消防団の代表としてポンプ車操法の部・小型ポンプ操法の部に出場し、見事に入賞を果たされました。大会では連日の練習の成果を十分に発揮され、次のとおり素晴らしい成績を収めました。

選手の皆さん、ご家族の皆さん、そして支援をしてくださった多くの皆さん、本当にお疲れ様でした。



《小型ポンプ操法の部》3位（参加11チーム）  
大会出場選手（敬称略）  
指揮者 増田 卓哉、1番員 土岐 哲史  
2番員 森 克則、3番員 大藤 淳  
サブメンバー 多胡 仁志、松田 博志



《ポンプ車操法の部》4位（参加18チーム）  
大会出場選手（敬称略）  
指揮者 増田 英信、1番員 上原 真哉  
2番員 戸島 辰徳、3番員 中村 一馬  
4番員 栗原 陽平  
サブメンバー 栗原 聡、高橋 哲也

## 雪か桜か？!

### 消防本部と消防団の車の見分け方

消防ポンプ自動車は、市内に30台あり、そのうち25台が消防団の車両です。どちらの車両かを見分けるには、車両正面のマークをご覧ください。右側の雪の結晶のようなマークが消防本部（署）で、左側の桜の花びらのようなマークが消防団のマークです。またこのマークは階級章にも使われています。

郷土を愛し守るといふ精神と、桜の花の色のように深く火消しの心意気を表したものであると言われています。



消防団のマーク  
（通称 桜のマーク）



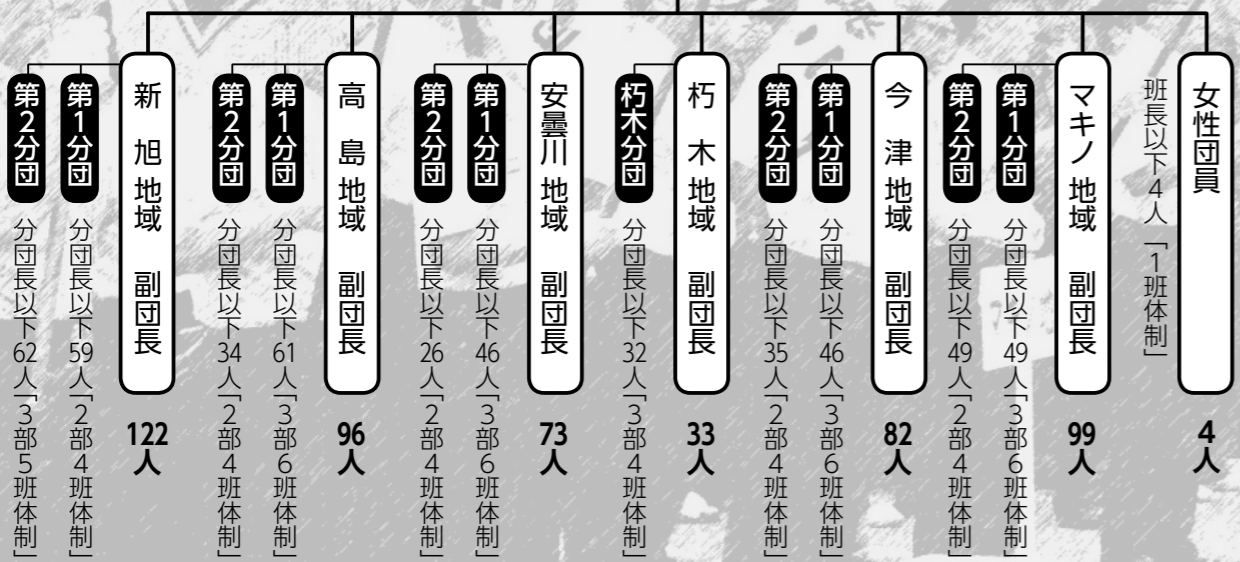
消防本部（署）のマーク  
（通称 雪のマーク）

雪の結晶は団結を、ホースと管を、そして水柱は消防の任務を、中央の日章は住民の太陽でありたいという願いを表しています。



## 高島市消防団組織図

（平成24年9月1日現在）



分団数・・・11分団  
 班数・・・54班  
 条例定数・・・560人  
 入団数・・・510人  
 消防ポンプ自動車・・・25台  
 小型動力ポンプ積載車・・・8台



## 高島市消防合同出初式

毎年1月には、新春恒例の消防合同出初式が開催され、450人を超える消防団員と25台のポンプ車が出動し盛大に挙行されています。当日は、表彰状や感謝状の授与式が行われるほか、消防車両の分列行進や一斉放水訓練が行われます。